

資料 しまだエコ活動レポート

令和元年度に登録及び報告された「しまだエコ活動」を紹介します。なお、各活動については、市ホームページにも掲載しています。

NPO法人 しまだ環境ひろば

◎活動名 竹林の保全・管理

●活動実績

島田市の国道一号（藤枝バイパス）沿いや、金谷・初倉地区の山沿いに孟宗竹が蔓延り、最近では、山の頂上まで暴走しています。

孟宗竹の根っこは地中に深く入るよりも、30 cmの浅いところを這うように暴走するので、実は表層雪崩を起こし易い。白岩寺山が、はなみずき通りに崩れ落ちた現象は、記憶に新しい典型的な竹林崩壊である。

しまだ環境ひろばでは、設立間もない平成 15 年から、竹林整備に取り組み、市と協働して、「竹破碎機」の購入による竹林再生を進めてきました。あれからもう 16 年、全部で6カ所の竹林を整備してきましたが、会員の高齢化や後継難で、現在の守備範囲は、「伊太八幡様西竹林」約600坪の管理に絞られていますが、今でも竹林の整備の依頼が市民から飛びこんできて、これまでの経験を活かして相談に乗っている今日この頃です。

令和元年度も次のような活動をしましたので御報告をします。

伊太八幡様西竹林約600坪は、今までは果樹園に樹種転換し、管理道の草刈りや果樹の剪定などが主な活動になっています。

- 柑橘類（カボス）が実りました。



- 平成 27 年に植樹した「ドウダンツツジ」も色づきました。



- 時々担当のKさんが草刈りに精を出しています。



- 作業の合間に一休みする休憩小屋も今では近くの矢倉山登山ハイカーさんに開放



◎活動名 梅林の保全・管理

●活動実績

島田市の伊太地区は大梅の産地で、2月には白い花がいっぱい咲き大勢の見物客で賑わい、6月には大きな実を付けます。梅は、土壌と病害虫の管理、枝の剪定（間引き）が大事ですが、大変な労度がかかり、農家の高齢化と後継難で放棄地が増えてきました。

しまだ環境ひろばでは、これまで梅林の管理など経験はありませんでしたが、会員Sさんが、梅林管理の技術を勉強し、それから毎年きれいな花を咲かせ元気な実を収穫しています。

令和元年度も、次のような活動をしましたので報告します。

- 令和2年6月、今年も大きく元気な実を付けました。



- 担当のSさんが丹精を込めて梅の剪定や養生作業を行っています。



令和元年度も豊作で、6月1日（土）、市内の市民希望者6名と、会員7名 計13名が集まってしまだ環境ひろば塾「梅の収穫と自然を学ぼう」を開催しました。

- 一般市民参加者も参加して楽しく梅狩り



- 収穫した梅は、計量し参加者に安価で斡旋



◎活動名 御仮屋市民農園の開設と維持管理

●活動実績

平成23年（2011年）に島田市農林課から、耕作放棄地を再生して市民農園を運営してみないかとの打診を受けて、平成24年10月御仮屋市民農園を開設し、今年度で7年目になっています。

農園は600坪強で、一区画6坪強、41区画あり、今年度は一般市民が32区画で25名が参加して思い思いの野菜や穀物を栽培し、地産地消に貢献しています。

確実に、お年寄りの居場所になっており、また子どもを含めた家族の団らんの場所になり、絆づくりに一役買っています。

■25番さんは菜園をいつもきれいに整備



■農園全体もいつもきれいに維持しています。



◎活動名 休耕田を利用した「中溝町コミュニティ農園」で地産地消

●活動実績

住宅街の真ん中に、耕作放棄した雑草地があるのは見栄えも環境面から見ても良くありません。

しまだ環境ひろばでは、地主に掛け合って、当該放棄地を借用し、会員自力でしぶとい雑草を抜き取り、耕運して畑に再生し、秋から初夏にかけては「菜の花」を、夏から秋には、「大豆」を栽培し、菜種油を取って近くの保育園に寄付したり、大豆は「手づくり味噌」の原料に使うなど、「手づくりみその体験会」は、もう10年も続いて今日に至っています。

残念ながら、平成30年度に、駐車場にしたいと地主の指示があり、円満に引き渡しをし、幸い350坪中80坪が残り、引き続いて4名の一般市民が作物を栽培して今日に至っています。

■ Kさんはいつもネギをうまく作りますし、Sさんのエンドウ豆畑も、今年も健在です。



■ 会としても今年度は、大豆を10kg程収穫し、一般市民対象の「新春 手づくり味噌の体験会」の素材に活用しました。

◎活動名 小水力発電の研究と導入促進

●活動実績

しまだ環境ひろばは、設立した平成15年8月当初から地球温暖化防止活動に取り組んできました。その中で特に再生可能エネルギー（自然エネルギー）の創出活動に着目し、島田市で可能性の高い、「小水力発電」に注力してきました。

平成22年（2010年）に、しまだ環境ひろばの中に、「小水力発電創出検討会」を立ち上げ、平成27年（2015年）には島田市ゆめ・みらい百人会議の中で、庁内に行政（環境課）・大井川土地改良区・しまだ環境ひろばをメンバーとして「小水力発電創出合同検討会」を立ち上げて今日に至っています。

同会は、残念ながら現在休会中ですが、しまだ環境ひろばでは、島田市内のどこかに小水力発電所を上げるべく模索を続けています。

これまでの主な活動内容は、次のとおりでノウハウは着実に習得してきています。

■ 「静岡県農業施設を活用した小水力等利用促進協議会」のメンバーとなり検討に参加

- 小水力発電機メーカー・発電所建設団体との交流
- 各地の小水力発電先進地域の小水力発電所の視察・研究
- 市民を対象に、小水力発電の可能性を秘めている大井川用水路の見学会の企画・実施
- 島田市・大井川土地改良区と協働して、「島田市小水力ガイドブック」を完成

令和元年度は、次のような活動を行いました。

- 令和元年6月20日 しずおか未来エネルギー(株)主催 映画「おだやかな革命」渡辺智史監督トークショーに参加しました。映画「おだやかな革命」は、自然エネルギーによる地域再生を題材にしたもので、いずれも地域住民が立ち上げた、会津地区の会津電力・飯館村の飯館電力、岐阜県郡上市の徹白(いとしろ)集落の小水力発電所等々、地域住民の涙と奮闘のドキュメンタリー映画。島田市でも、是非過疎地域の住民に見てもらいたく、上映を環境課と検討中です。

写真は、6月20日の渡辺監督のトークショーの一場面です。非常に有意義でした。(左下)

- 現在、静岡県においても、地域市民グループや団体がファンドを組んで、小水力初発電所を立上げて、出資者には配当も行って成果を上げています。島田市は、大井川の最下流にある川口発電所からトンネル内を流れ下る用水路が網の目のごとく市内を流れ、小水力発電に適した場所はいっぱいありますので、市内のどこかに設置したいという思いは変わっていません。幸い、発電機メーカーと土地改良区が地元が存在し、非常に恵まれた環境下にありますので、是非とも実現したいものです。写真は最有力候補地 初倉パロー物流センター南用水路。(右下)



◎活動名 市民の環境意識向上のための広報活動

●活動内容

しまだ環境ひろばは、島田市が第一次環境基本計画策定のために市民を100名集めた、「市民環境100人会議」を母体として、平成15年8月に結成し、計画の中に書いた5つの取組を全方位で実践してきました。1. 水とみどり分野(自然環境の維持保全) 2. ごみ分野(ごみ分別と減量) 3. エネルギー分野(省エネ・地球温暖化防止・再生可能エネルギーの創出など) 4. 食生活分野(食の安心安全・伝統食の継承・地産地消など) 5. 環境教育分野(市民環境塾・しまだ環境ひろば塾の開催)

活動間口が広いので、どうしても活動が広く浅くなり、市民への浸透が弱い欠点があります。

どんなに良い活動をして、市民から理解をされて浸透しなければ意味がありません。そのためには広く市民に知ってもらう広報活動は大事です。

令和元年度も次のような広報活動を継続してきました。

■島田市地域交流センター歩歩路の掲示板をメンテしてアピールしています。



■令和元年11月30日に予定されていた「島田市くらし・消費・環境展2020」は諸藩の事情で中止になりましたが、島田市にとっても、しまだ環境ひろばにとっても、市民環境意識の醸成のため重要なイベントでした。令和2年度は心して開催を期したいものです。

■令和元年10月 島田市民活動センター主催「市民活動団体 活動紹介シート」に投稿し、同センターや地域交流センター歩歩路のフロアに展示されて一般市民にアピールしました。

■毎年、島田市が発行している、「島田市環境報告書 令和元年度版」にしまだ環境ひろばの活動が10頁に渡って掲載され、ホームページにも公開され広くPRすることができました。

■しまだ環境ひろばでは、設立当初からブログを開設し、平成21年（2009年）には、はてなダイアリーに、「しまだ環境ひろば日記」を再開設し、令和2年3月末で3,150回（約10年間）の投稿になりました。アクセス回数は8,000回に達しています。投稿の内容は、5つの環境分野にわたる、しまだ環境ひろばの活動を中心にして、世界や全国で時の話題になっている環境問題（森林保全・プラスチックごみ問題・地球温暖化防止活動・食の安心安全などなど）に言及してきました。これからも継続投稿をしていきます。

◎活動名 しまだ環境ひろば塾の開催（テーマ・目的・参加人数などは一覧表を参照）

●活動実績

どんなに良い活動をして、それが市民に理解され普及して定着しなければ、自己満足にしかありません。そういう意味で「市民環境教育」は、しまだ環境ひろばの一丁目一番地の活動です。

平成23年までは市から委託されて「島田市民環境塾」を、平成24年からは「しまだ環境ひろば塾」に衣替えして連続7年間継続開催してきました。先進地視察会・有識者を講師に迎えての講演会・各種視察会・体験会・技術研修会等々、一般市民に集まってもらい精力的に市民塾を開催してきました。

会員不足、会員の高齢化、後継難に見舞われ、市民の環境意識もなかなか高揚ならず、一時の盛り上がりもすっかり冷め、内容も回数も落ち込んでおります。

しかし、市民環境教育は非常に大切であり、しまだ環境ひろばは、これからも市民環境塾を通して、環境意識の高揚を図っていきますが、市を上げて市民環境塾の元気な復活が必要な時です。

令和元年度も、「しまだ環境ひろば塾」を次のように開催しましたので御報告します。

開催場所・目的・内容・参加人数など詳細は、別紙一覧表を御参照ください。

(1) 令和年6月1日「梅の収穫を通じて自然について考えてみよう」を開催しました。

市民のみなさんは梅の実を家に持ち帰って、梅干しやジュースに加工します。



(2) 令和元年6月3日 身近な水環境の全国一斉調査「相賀谷川の水質調査をしてみよう」を相賀の里を良くする会と共催して、相賀小学校3年生と5カ所の調査を実施しました。

当日は、大賀谷川のごみの調査（どんなごみが落ちているかな！）も一緒に行いました。

■川から水を汲んで、温度や水質を検査



■温度や水質の検査結果を調査用紙に記録



■吸い取った水に試験紙を浸し、水質を調査



■最後に全員で記念撮影、やったー



相賀谷川は、総合的にきれいですが、アユやゲンジボタルが蘇るには、まだまだ水質改善がひとつようなことが、3年間の定期観測で分かりました。

後日、相賀小3年生全員の感想文と感謝状が届き、疲れも吹っ飛んでしまいました。

(3) 令和元年12月7日・令和2年1月7日・12日・15日・18日・22日・25日・26日の8回「手づくり味噌の体験会」を開催しました。

*2日間は、相賀の里を良くする会と共催しました。

*2日間は、農林課さんと共催しました。

*4日間は、しまだ環境ひろば独自で主催をして開催しました。

手づくり味噌の安心・安全性と美味しさが評価されて参加者はすっかりリピート化し、今年度の一般市民参加者は76名に達しました。

■ 朝8時集合 講師の作り方の説明



■大豆を煮込んでいる間に、予め用意した麴と塩を混ぜ合わせ作業



■ 早朝5時事務局が、大豆の煮込みを開始



■煮込んだ豆と、麴と塩を混ぜたものをミンチ機にかけて、カメに仕込んで完成



令和元年度 しまた環境ひろば塾 開催実績一覧表										
対象者	番号	テーマ名	目的(狙い)と経緯	出席者	講師	所要時間	開催日	開催場所	参加人数	プログラム・実施内容
一般市民	1	「梅の収穫を通して自然について考えてみよう」	平成25年、耕作放棄された農地を再生し、梅の栽培について5年目、梅の産地といえる地域環境をしながら、農業の自然を分かち合うことを目的とする。	一般市民	しまた環境ひろば	4時間	令和元年 6月1日(土)	伊次・新音様 しまた環境 ひろば 新園	市民5名 ひろば 7名 計12名	当日は赤川市農に、梅の産地までの農作業を体験の場、虫感・農具・計量・出費を体験してもらった。しまた環境ひろばの農山の再生活動を体験し決意を新た。
	2~3	「手づくり味噌の講座 NO.1.2」 2回開催	しまた環境ひろばでは、市・農林課主催の「地域環境創造委員会」の運営委員として活動しています。地元産の手づくり味噌は、伝統的でもあり、また地域経済の潤たる産物であり、農林課さんと協働して、毎年この時期に市民を集めて講座を行います。すっかり定着しました。	一般市民	農林課 しまた環境ひろば 東光寺園田農園 園田巴義さん	一回 7時間	令和2年 1月15日 (水) 18日(土)	東光寺 園田農園	市民 29名 ひろば 4名 計33名	市民が約8:30分には会場に到着し、農林課さんと園田さんの挨拶と作り方の説明をきいて作業開始。1月18日には神田新築社の取材もあり、19日の新聞にも紹介されました。
	4~7	「新春 味噌の手づくり体験会に参加しよう NO.3, 4, 5, 6」 4回開催	しまた環境ひろばでは、中浜町コミュニティセンターで、農業を一歩味わい大豆を栽培・収穫してきましたが、様々な地域産の味噌作りがあり、今年度は秋田産を使わせるを機に、米麹は有機米、黒麹は一歩味わい大豆が地域産に貢献しています。	一般市民	しまた環境ひろば 東光寺 園田農園 園田巴義さん	一回 7時間	令和元年 12月9日 (月) 令和2年1月 7日(水) 12日(土) 25日(土)	東光寺 園田農園	市民 32名 ひろば 4名 計36名	前日は、早朝より味噌作り。当日は朝早くから新戸への火入れを行い、豆が糖化後、おきてつるる程度まで煮込み、冷ましてから塩と麹と豆を混ぜてミンチ機にかけて仕込んで終了。
	8~9	「手づくり味噌の体験会」NO.7.8」 2回開催	しまた環境ひろばでは、相賀地区で立ち上がった、自然環境を基盤とした地域づくり「相賀の里を良くする会」を支援しています。長年培った「手づくり味噌作り」を機会にトランスファーして、今年度は2回開催しました。大反は地元産大豆、麹は園田農園産を使いました。	一般市民	相賀の里を良くする会 東光寺 園田農園 園田巴義さん しまた環境ひろば	一回 7時間	令和2年 1月22日 (水) 28日(日)	東光寺 園田農園	市民 16名 良くする 会3名 ひろば 2名 計20名	参加した市民は、前日の早朝より、味噌作りから当日の味噌の仕込みまで、清野の指導と協働で自分たちの力で仕込みました。みんな笑顔で楽しめました。
児童 一般市民	10	身近な水環境の全国一斉調査「相賀谷川の水質調査をしてみよう」	しまた環境ひろばでは、平成21年~24年まで、全国一斉調査に参加して、大井川とその支流の水質調査をしてきました。3年間に相賀の里を良くする会と連携し、相賀小学校教員先生の協力を頂いて、今年度は3年連続の環境教育の一環で実施することになった。昨年度は5年を対象に実施した。	相賀小学校 2年生	しまた環境ひろば 相賀の里を良くする会	3時間	令和元年 6月2日(月)	相賀谷川 5拠点	相賀小 3年生 8名 児童1名 ひろば1名 計11名	全国調査事務局から送られてきた調査キットと、その他用具を揃えて、児童たちとその使い方を説明し、おじいちゃんたちの自主性に基づいて5カ所の水質調査を行った。相賀谷川の水質は良好に保たれていたが、人車に泥が降り積もるなど、人が水を汚していることを児童たちは指摘した。

◎活動名 環境保全活動の進行管理の推進

●活動実績

島田市では平成13年に、「島田市環境条例」を、これに基づいて平成15年3月に、「第1次島田市環境基本計画 10年計画」を発令しました。第1次環境基本計画は、100人の市民を公募して、「環境100人会議」を結成し、市民の声を結集して策定されました。

それから10年経過後の平成25年3月、「第2次島田市環境基本計画」が施行されましたが、これも、市民25名を公募して、「市民環境会議」を結成して計画を策定し今日に至っています。

第1次、第2次環境基本計画共に、毎年のPDCA（Plan Do Check Action）をしっかりと義務付けて、市も毎年、市民（市民グループ・事業者）を集めて、フォロー会議を開催し、その結果を「島田市環境報告書」にまとめて市民に公開してきました。

さて、しまだ環境ひろばは、平成15年8月に結成されましたが、「第1次環境基本計画」の自らが書いた市民の取り組みを、市民の先頭に立って活動せんと、「しまだ環境ひろば」を結成し、今年で16年目に入りました。市と同じ様に毎年自分たちの活動を反省し、総括し、次の活動計画を作成するPDCAを実行し、今日に至っています。

令和元年度も次のように進行管理業務（PDCA）を実行しましたので御報告をします。

先ず、令和元年4月20日（土）、通常総会を開催し、議案書に基づいて今年度の活動報告・決算報告・新年祖事業計画・予算計画を審議、承認し、その結果は議事録にまとめられました。

■通常総会の様子

残念ながら年々活動力は落ちてきました。

■席上には、議案書が配布され、決算・活動実績・

活動計画・予算計画が示され承認されました。



□承認された事業実績及び決算結果は、4月末に県の所管（くらし環境部）に報告、併せて法務局に役員選任登記及び財産登記を行いました。活動結果は県のホームページに掲載されています。

□また、しまだ環境ひろばは、島田市「しまだエコ活動制度」に9つの活動を登録していますので、4月初旬に活動報告書を島田市環境課に提出しました。

この活動結果は、「島田市環境報告書 令和元年度版」に掲載され、1月29日に開催された環境課主催の「令和元年度 環境報告会」で紹介されました。

□令和元年10月島田市市民活動センター主催「市民活動紹介シートづくり」に協力しました。

この結果は、市民活動センター公式サイトに公開されています。

しまだ環境ひろばは、行政や市民団体同志の協働や連携が高まって行くことを期待し、これからもPDCA活動の一環として協力をしていきます。

◎活動名 生ごみの堆肥化の普及活動と生ごみ分別収集の調査・研究

●活動実績

島田市では、平成27年3月（2015年）、「島田市一般廃棄物処理基本計画」と、「ごみの減量提言書」を

同時に発令し5年経過、令和2年度はその見直し計画（第2次）が発令される予定です。

基本計画・提言書の中には、ごみの減量計画とその方策が記述されていますが、ごみの量は高止まりし、ごみ処理経費は増勢一方で、今の状態では何も変わりません。

計画はできているわけだから、あとは実行あるのみ、退路を断って、市民の意識改革を断固実行し、計画を勇気出して実現するしかない。しまだ環境ひろばは、平成15年に設立以来、ごみの減量策を地道に行ってきましたが、生ごみの削減策として、堆肥化の2つの方法に行き着きました。

今、市は、生ごみの減量策を、家庭内処理にも求めるべく、生ごみを消滅させる。「キエーロ」と、生ごみを堆肥化する、「生ごみ処理器」の2つの方法に補助金をつけて支援しています。

しまだ環境ひろばは、後者の堆肥化方法として2つを推奨します。
令和元年度は、次のような活動をしましたので報告します。

□腐葉土式生ごみ処理器

■用意する道具は、バケツ2個・麻袋8枚
計量容器・シャベルだけです。



■基材（腐葉土・米ぬか・使用済み食用油を規定の量）と生ごみをよく混ぜて、麻袋に詰めて1カ月保存



■袋に詰めたら、保管はスチロールの箱でも良い。1カ月で良質の堆肥ができます。



■しまだ環境ひろばでは、大量の堆肥を作りたい市民向けに「さんさんBOX法」も推奨しています。



大鐘測量設計株式会社

◎活動名 伊太谷川清掃活動

●活動実績

令和元年度の活動は、伊太谷川の清掃活動を2回実施しました。回収したごみは会社に持ち帰り、分別処理を行いました。活動内容は以下のとおりです。

伊太谷川清掃活動		
日時	参加人数	場所
R1.5.30	17人	静居寺大橋～菰川橋 約450m

日時	参加人数	場所
R1.11.4	10人	菰川橋～伊太谷川橋間 約 450m



登録されている活動以外にもエコアクション 21 の活動として、総 CO² 排出量、総排出量、総廃棄物量の削減やエコドライブの実践、エコカーの導入、電気や LPG、水道の節約、ごみの減量等に努めています。

具体的には①毎月のガソリン、電気、ガス、水道の使用量のチェック②紙類、ダンボール、可燃ごみの排出量のチェック③ガスヒートポンプの簡易点検、浄化槽の保守点検などを実施

これら毎月のデータを把握して経年変化を見える化し、次年度目標、エコカー買い替えの参考資料等になっています。

また、4 カ月ごとに全社員による研修会を開催し、エコアクション 21！活動の取組担当者として自己評価発表をしています。

NPO 法人 しろやまゆいの会

◎活動名 地域の自然環境の保持と住民の生活向上

●活動実績

しろやまゆいの会では、自然の環境の保持や地域住民の健康で文化的な生活の向上を目指して、下記の6事業について活動を行い、活力ある地域づくりに寄与しました。

令和元年度 事業報告				
事業名	事業内容	実施日	従事人数	実施場所
自然とのふれあい事業	湯日っ子の森草刈り	7/13、11/17	47	空港アクセス道路 北側法面
	湯日っ子の森管理体験	2/17	2	
	太陽光発電施設芝桜等管理	4/14~3/15	91	
	芝桜植え替え	3/15	14	
文化の伝承事業	炭焼き窯周辺管理	5/25、12/18	4	炭焼き窯
自然保護事業	下草刈り、コサ切り	11/30、12/18~12/20	26	長間谷
	間伐	1/14~1/17、1/20~22	53	谷田川報徳社
	草刈り	6/1、7/28、8/3、7、9、15、 9/17、11/4、12/22	132	養勝寺川
	竹林整備、竹林間伐	1/9	10	原の平吹木線沿い
しろやま公園活用事業	草刈り	7/7	7	湯日小学校校庭
	七夕祭り準備	7/26	11	しろやま公園
七夕祭りイベント	8/4	22		
しろやま公園管理事業	除草、剪定 芝刈り	6~11月(月1回)、3/15	42	
しろやま公園整備事業	ベンチ設置	8/3	3	
他団体への支援事業	高齢者福祉活動 花壇等の管理	各団体が実施する活動に対して助成		

水と里山を守る会

◎活動名 里山・里地整備 荒廃耕作地を再耕作

●活動実績

一耕作放棄地を活用—トマトの栽培・そばの栽培・いもの栽培

島田の伊太・大津谷川流域の水田は、粘土質のうえに水はけが非常に悪く、放棄地になっても野菜など作る畑にはならない。これは島田地区の最大の問題点で、その土で瓦や焼物が出来るほどの土質である。それに加えて、水分をぬく排水路の不完備がある。伝統的に「田越し式」の水配給制であり水田の横サイドに排水を機能する本当の排水側溝がないことが、その後の「市民農園」化や「有志グループによる集約的耕作」などの有効活用ができない原因となっている。

私どもが行っている水田あとの耕作放棄地は、幸運にも、県道工事の山土を放棄水田の上に客土したもので、一年かけて大小の石を取り除き、耕運機をかけ、堆肥を施したものである。(地主が耕作可能になったとき返還されるものである。)

(1) そば作り (トマトの裏作、連作障害避けでもある)

種蒔き・耕運・畝づくり

8月26日、9月19日、9月20日



ソバの刈取り (手作業で刈り取る 天日干し 脱殻 篩分け・そば粉づくり)

11月5日 刈取り ブルーシートの上に束ねて干す 雨避けシートで覆う

11月9日 脱殻 蕎麦殻 篩分け そば粉づくりへ



(2) 『トマトソース用 (料理用) トマトの栽培』

4月11日圃場の耕運、うね造り 4月16日トマト畑のうねマルチ張り

4月23日トマトの苗、植付け 5月6月7月雑草取り、水かけ

7月10日トマト初収穫 ほぼ毎日食堂用収穫 7月30日工場用収穫

8月5日最後のトマト収穫 8月8日トマト畑残渣廃棄、整地



体育館横の朝市や帯通りの市に出しています。(無農薬を原則としているので好評です)

(3) さつまい芋の芋掘り 収穫まつり



(4) 源氏ぼたるの生息 環境づくり

5月25日 初見え 6月5～10日最盛期 6月15日終演

最盛期には80匹 乱舞

健全な田畑が営まれ、生態系がよく維持されていれば都市の周りでも人と共存できる。カワニナしか食さない蛍幼虫はカワニナの自生出来る環境を作ってやるのが必須条件。(5月頃、土堤に土繭をつくるので土の護岸も必要)。ほたるの巣にカワニナの放流作業 ひと月おきに採取、放流



(5) 6月15日(土) 第23回「森林と市民をむすぶ全国の集い」掛川市緑化推進機構 後援
静岡県土木・市土木開催の「大井川水系下流ブロック河川整備計画」検討会 参加出席
対象は、大井川に注ぐ大津谷川、大代川など8河川

上記の開催内容を踏まえて

○災害防止のための河川砂防提のあり方について

4月 5月 県防災事務所、志太榛原農林事務所等と意見交換した。

「水と里山を守る会」の趣旨にも則ったものであった。

○10月25日 大規模土砂災害対策研究機構(対策技術センター)

和歌山県土砂災害啓発センター 訪問・意見交換

1 大規模土砂災害に係る危険個所の抽出・評価

- 2 中山間地域の危機管理対策
- 3 国土監視及び国土管理の強化
- 4 次世代災害対応技術の開発・導入



『田舎は田舎だけで生きていけるが、都市は都市だけでは生きていけない。』という言葉がある。

小都市の周辺田畑を守り、健康な食物をおくり、自然環境をとどける。

小都市の周りの水田、茶畑、森林が激変している。耕作放棄地問題も中小河川の水や土砂の供給にも大きく関係している。河床の上昇、白浜の退縮、災害多発などの根本原因ともなっている。

全国各地の取り組みや世界の例を考慮してみる必要がある。

ふるさとの森

◎活動名 森のクラフト教室

●活動実績

ふるさとの森では、自然素材である地元の木材を利用して工作を行う「森のクラフト」を実施しています。子どもから高齢者まで、自分で木を切り、形を工夫して作成します。令和元年度につきましても、様々な場所に出向き開催しました。

実施日	参加人数
4月21日	静岡市沼上清掃工場
7月7日	金谷公民館
10月6日	静岡市沼上清掃工場
10月19日	金谷公民館
10月24日	金谷公民館

JA大井川女性部島田ブロック

◎活動名 環境美化ごみ拾い運動

●活動内容

活動日：令和元年9月7日（土）午前8時～約1時間程度活動

参加人数：女性部島田ブロック部員およびJA役職員60名

JA大井川女性部島田ブロックでは、例年9月の第1土曜日に大井川河川敷にて、環境美化活動（ごみ拾い運動）を行っています。農業になくってはならない水に感謝を込めて、河川敷の美化活動を部員の方々とJA大井川役職員にて行いました。

平成31（令和元）年度も忙しい時期にも関わらず、たくさんの方の参加いただきました。

以前はたくさんの空き缶や吸い殻・リサイクル法に抵触しない家電製品などのごみが散在していました

が、今回は花火大会が中止になったので、例年見かける、花火の燃えカスや食品ごみが少なく感じました。手持ち花火のごみも毎年のようにありますが、今年はほとんど見当たりませんでした。大井川花火大会の中止は残念でしたが、結果として環境美化には良い影響だったと言えます。この環境美化活動は平成8年より継続して行っています。令和2年度も継続して活動予定です。



大井川河川敷にて清掃活動の様子

特定非営利活動法人 里山仕事・しょんた塾

◎活動名 里山と諏訪原城跡の整備

●活動内容

1. 塩ノ田の草刈り、竹伐り、剪定：主に4月から9月にかけて、不定期に耕作地、道路沿い、水路周り、法面の草刈り、竹伐り、道路に突き出た枝の剪定を行った。累計作業員数は26人。
2. 神谷城、個人所有ヒノキ林、約0.6haの間伐：アオキ等の下層植生が多いところと、植生の少ないところ、また水路ができて荒れている所が混在している林。測量や立木数調査などはしなかったが、およそ450本の間伐となるところの内、350本の間伐を終えたと思われる。累計作業員数は16人。
3. 諏訪原城跡の倒木整備、間伐、枝打ち：平成30年秋の台風による倒木で、シイ、ナラ、ヒノキが掛り木になり、枯らすためにこれらを1年間放置しておいた。倒木の片付け後、この場所の照葉樹の間伐を行った。本曲輪南側では小径木の間伐と枯木の除伐を行った。更に二の曲輪・土塁上のヒノキの枝打ちを行い大手曲輪方面から見通しを良くした。累計作業員数は11人。
4. 初倉竹伐採：住宅地で面積は小さく、長さ25m、幅5mくらいだが、急傾斜で足場が悪い。細い竹の中に椿が混在している。チェーンソーより刈払機、大鎌、高枝切りが有効であった。作業員は4人。



里山どんぐりの会

◎活動名 里山づくり(人工林・雑木林の育成)

●活動実績

令和元年度				
活動内容	時期又は年月日	回数	活動場所	備考
集落隣接放置竹林・侵入竹林の整備	4/20.21 5/9.11.16.18.19 23.25	9回	大草 上反方	(約 0.6ha)
どんぐりの森を作ろう(前回植樹場所の草刈り)	8/29	1回	大草 菅ヶ谷	(約 0.1ha)
城山北面竹林整備	2/8.29	2回	野田城山	(約 0.1ha)

◎活動名 自然活動事業を通じ子供の健全育成を図る

●活動実績

令和元年度				
活動内容	時期又は年月日	回数	活動場所	備考
チャレンジ教室準備(傾斜木の処理)	4/17	1回	大草 八幡南	(約 0.1ha)
チャレンジ教室(中学生)タケノコ掘り体験に協力:生徒6人、指導員3人、案内人1人、スタッフ6人	4/18	1回		
春の大作戦準備	4/4.6	2回	大草 上反方	9人参加
春の大作戦(どんぐりの苗植えて、タケノコを掘ろう)	4/13	1回		一般20人、小さな親切運動34人、スタッフ7人参加

活動内容	時期又は年月日	回数	活動場所	備考
秋の大作戦準備	10/18	1回	大草 菅ヶ谷	
秋の大作戦(どんぐりの森を作ろう大作戦)	10/20	1回	大草 菅ヶ谷	6人参加 植樹 20本

島田瓦斯株式会社

◎活動名 エネルギー・環境事業

●活動実績

島田ガスは島田市を中心にガス・でんきをはじめとするトータルエネルギーを提供する企業の責務として、地域に根ざした環境活動に参画し次世代教育の支援をすることを進めています。

① 次世代教育活動

次世代を担う子供たちを中心に、エネルギーや環境についての重要性を学んでいただくための取り組みとして島田ガスでは出張授業を実施しています。

令和元年8月15日(木)には島田市田代の田代環境プラザで、「夏休み親子環境学習講座」を島田市と共同開催いたしました。静岡ガスの岩ヶ谷昌敏氏による、「環境にやさしい天然ガス」の内容で、マイナス196℃の液体窒素を用いて風船を凍らせてみるなど、物質の状態変化についてわかりやすい実験を行いました。

天然ガスは、採掘地にて超低温処理により液化され、体積を気体比1/600にすることで、タンカーによる輸送を可能としており、清水港内のLNG基地にて再度気化され、都市ガス導管網を通じ、お客様にお届けしています。参加された皆さまには、冷却実験を通じて楽しみながら、仕組みを御理解いただきました。

<当日の様子>



② 食育・全国クッキングコンテスト

昨今、子供たちの食生活の乱れが心身の発達に及ぼす影響が指摘されるなか、「食育」が注目を集めています。「食育」とは、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むことです。食べることは生涯にわたって続く基本的な営みですから、子供はもちろん、大人になってからも「食育」は重要です。健康的な食のあり方を考えるとともに、だれかと一緒に食事

や料理をしたり、未来ある子供たちのために、栄養の大切さ、食事の自己管理能力を高めるものです。その食育運動として、「一緒に作ると楽しい！おいしい！！」のスローガンに全国親子クッキングコンテストを他のガス事業者と共に開催しています。

2019年第13回大会では、多数の応募者の中から1組の親子代表が県内地区予選に選出し、親子が協力し、オリジナルのレシピを完成させました。

③ エネファームによるCO₂削減

温室効果ガスとして主に問題となっているCO₂排出量削減について、近年のクリーンエネルギーの代表である水素を利用した家庭用燃料電池【エネファーム】は、発電時に発生する排熱でお湯をつくるなど、CO₂削減に大きく貢献し、年間のCO₂削減量は1.3tにもなります。これは、杉の木が1年間に吸収するCO₂約93本分に相当します。

エネファームは、CO₂の発生が少なくエネルギー利用効率が非常に高いことから、地球温暖化防止対策の切り札として期待されており、当社も積極的な普及を図っております。

島田市におきましても、2019年4月より、住宅用太陽光発電設備から創り出す再生可能エネルギーの用途を「売却」から「自家消費」へシフト転換を図り、再生可能エネルギーの有効活用を図ること、また、家庭における省エネの推進の観点から補助金制度の受付が始まっております。2019年度分の補助金については、予算額に達したため、年度途中で受付が終了となりましたが、2020年度におきましても、引き続き補助金制度事業は実施される予定となっております。

報徳・サン・シンコーグループ

◎活動名 島田市総合スポーツセンター外3施設の地球にやさしいエコ活動

●活動実績

令和元年度は次のような活動を行いましたので報告します。

- ・3Rの推進
- ・グリーン購入
- ・ごみの持ち帰り
- ・エコドライブの推進
- ・ノーカーデーの推進
- ・グリーンカーテンの設置（写真）
- ・館内共有部分26℃設定（写真）
- ・冷暖房期間の設定
（自然換気期間 3.4.5.6月、冷房期間 7.8.9月、
暖房期間 12.1.2月）
- ・子供水泳教室 シャワー10カウントの推奨



資料 島田市環境報告書に寄せられた意見と回答

第2次島田市環境基本計画【後期基本計画】において、公表した島田市環境報告書については、意見を募集し、それに対する回答を次年度の島田市環境報告書に掲載することとされています。令和元年度に作成しました環境報告書に対するご意見やご質問に対する回答や説明を下記のとおり掲載します。

意見1

大気環境監視体制において、島田で二酸化硫黄、金谷で硫黄酸化物と書いてありますが、両者の比較はできないのですか。

回答1

二酸化硫黄は硫黄酸化物の一つですが、旧島田市と旧金谷町では行ってきた検査の方法が異なっているため、記載と評価方法も異なります。分析会社に確認しましたが、分けて記載したほうがよいということでした。両者は厳密には異なるので比較はできません。

意見2

交通騒音結果は等価騒音レベルを使っていますが、音の大きい瞬間が無視されていませんか。

回答2

自動車騒音の評価手法は一般的に等価騒音レベルを採用するとされており、環境基準も等価騒音レベルで決められています。平均したら均されてしまう程度の瞬間的な騒音は、改造車等の影響かもしれないので警察へ通報する必要があります。